

2005年のマレーシア研究：文献目録

(作成協力：坪井祐司／編集：左右田直規)

この文献目録は、2005年1月から同年12月までに日本国内で公表された、マレーシア研究に関連する研究業績を掲載したものです。現在のマレーシアに相当する地域を扱った文献については、できる限り網羅的に採録しています。近隣の国家・地域や広域（例：東南アジア全域）を扱った文献については、紙幅の制約があるため、JAMS会員による業績を中心に収録しています。該当する文献については、「書籍の部」と「論文の部」に分けて、原則的に、著者・編者の五十音順に配列しています。ただし、著者・編者の氏名がアルファベットで表記されている場合は、カナ表記が明らかな場合を除いて、該当する文献を別個にアルファベット順に並べています。

この文献目録作成にあたっては、坪井祐司会員の全面的なご協力をいただきました。坪井会員に作成していただいたマレーシア関連地域の研究に関する論文のリストを、編集部が左右田が取捨選択・編集し、さらに書籍に関するリストを補いました。ご協力いただいた坪井会員には厚く御礼申し上げます。

なお、この文献目録の文責は編集部（左右田）にございますので、採録されている文献の情報に誤りがあつたり、掲載されるべき文献が抜け落ちたりしているような場合には、お手数ではございますが、左右田にご連絡いただきますようお願い申し上げます。また、本目録は日本国内で刊行された文献のみを収録しておりますが、会員が国外で公表された文献がございましたら、同じく上記の連絡先までお知らせいただけますと幸甚です。それらの文献につきましては、文献目録の補遺として、次号の中で掲載させていただきたいと思っております。

なお、ここ数年間の会報では各文献の内容に関する紹介もなされておりましたが、現編集部ではそこまで手が回りませんでしたので、2005年のマレーシア研究に関しては文献目録のみの掲載とさせていただきます。

(会報編集委員：左右田直規)

【書籍の部】

- アジア農村研究会（編）『学生のためのフィールドワーク入門』めこん。
- 岩佐 和幸『マレーシアにおける農業開発とアグリビジネス：輸出指向型開発の光と影』法律文化社。
- クラトスカ、ポール・H（今井敬子訳）『日本占領下のマラヤ 1941-1945』行人社。
- ジャヤソーリア、デニソン（神波康夫／神波幸子訳）『マレーシアにおける障害者：市民権とソーシャルワーク』日本文学館。
- 杉本 均『マレーシアにおける国際教育関係：教育へのグローバル・インパクト』東信堂。
- 多和田 裕司『マレー・イスラームの人類学』ナカニシヤ出版。
- 鳥居 高（編）『マハティール政権の22年：文献レビューと基礎資料』アジア経済研究所。
- 橋本 雄一『マレーシアの経済発展とアジア通貨危機』古今書院。
- 三木 敏夫『ASEAN 先進経済論序説：マレーシア先進国への道』現代図書。

【論文の部】

- 穴沢 眞「マレーシアの制度能力と産業政策」『アジア研ワールド・トレンド』11(2): 12-15。
- 穴沢 眞「マレーシア製造業における外資系企業」『商学討究』(小樽商科大学)56(1): 35-56。
- 阿部 健一「生態地域主義という考え方」『科学』75(4): 486-489。
- 新井 敬夫「マレーシアの産業集積と地域格差：地域別の製造業生産関数による分析、1985-1996年」『亜細亜大学国際関係紀要』14(2): 127-149。
- 井口 由布「『主体』構築の場としての地域研究：多の多義性とマレーシア」『工学院大学共通課程研究論叢』42(2): 29-42。
- 石戸 光「マハティール下のマレーシアにおける外資の役割」鳥居高（編）『マハティール政権の22年：文献レビューと基礎資料』アジア経済研究所、pp. 91-131。
- 泉田 英雄「アジアのアーケードと路上商売」『アジア遊学』80: 152-163。
- 市川 哲「マレーシアにおける都市再開発と華人墓地：マラッカおよびクアラルンプールの華人墓地保存論争」『史苑』（立教大学）65(2): 29-54。
- 伊藤 恵美子「マレー文化圏における断り表現の比較：ジャワ語・インドネシア語・マレーシア語の発話の順序に関して」『国際開発研究フォーラム』（名古屋大学）29: 15-27。
- 伊藤 眞「カジャン：近代化を拒否する人々」綾部恒雄（監修）／林行夫／合田濤（編）『東南アジア』（講座世界の先住民族 ファースト・ピープルズの現在 02）明石書店、pp. 258-273。
- 伊藤 眞「大衆化するハジ巡礼：南スラウェシの事例から」『人文学報』（都立大学）360: 67-96。
- 伊藤 眞「へそのある家：南スラウェシ、ブギス・マカッサルの家屋から」『アジア遊学』74: 61-70。
- 岩尾 龍太郎「筑前唐泊孫太郎ボルネオ漂流記 基礎資料（1）」『西南学院大学国際文化論集』19(2): 175-202。
- 鶴沢 洋志「マレーシア語の基礎語彙調査」『東京外大東南アジア学』10: 75-107。

- 臼田 寛／土手 友太郎／渡辺 美鈴／清水 宏泰／谷本 芳美／林 さつき／川崎 隆士／中筋 一夫／河野 公一「JICA 技術協力プロジェクト・『マレーシア労働安全衛生能力向上計画』への参画：マレーシア国立労働安全衛生研究所（NIOSH）への技術協力を通して見た日本の労働安全分野における国際協力とその役割」『大阪医科大学雑誌』64(3): 168-174。
- 宇高 雄志「マレーシアのショッピングハウス：『中国人のすまい』から世界遺産へ」『アジア遊学』80: 179-191。
- 梅崎 創「マハティール政権期の財政：予備的考察」鳥居高（編）『マハティール政権の22年：文献レビューと基礎資料』アジア経済研究所、pp. 67-90。
- Oikawa Hiroshi（小井川 広志），“TNC-led Auto Industrialisation in Malaysia: An Empirical Value Chain Approach”『国際情報学部紀要』（県立長崎シーボルト大学）6: 143-163。
- 雄谷 進「国際文化交流促進に向けた地域拠点としての日本語協会：マレーシアでの事例を中心に」『愛知淑徳大学現代社会学部論集』10: 125-138。
- 奥島 美夏「特集にあたって：インドネシア人労働者の国際動向と日本の雇用構造における位置づけ」『異文化コミュニケーション研究』（神田外語大学）17: 1-47。
- 奥野 克巳「邪術と嫉妬：ボルネオ島カリス社会の事例から」『国際学レビュー』（桜美林大学）17: 35-55。
- 奥村 みさ「女性誌にみる『よそおい』とマレー文化の新伝統主義」加藤博（編）『イスラームの性と文化』（イスラーム地域研究叢書 6）東京大学出版会、pp. 241-262。
- 小野 林太郎「土器・陶磁器から見たセレベス海域の交易・歴史時代：交易ネットワーク・複合社会の発展過程に関する歴史考古学的試論」『上智アジア学』23: 179-200。
- 加藤 優子「カジャン・ホスピタル産科の50年：マレーシアにおける出産の病院化の過程」『アジア・アフリカ地域研究』（京都大学）4(2): 195-228。
- 金沢 謙太郎「サラワクの森林伐採と先住民プナンの現在」池谷和信（編）『熱帯アジアの森の民：資源利用の環境人類学』人文書院、pp. 273-301。
- 金子 芳樹「開発体制の限界：マハティール政権の評価を通して」黒柳米司（編）『アジア地域秩序とASEANの挑戦：『東アジア共同体』をめざして』明石書店、pp. 163-187。
- 上東 輝夫「第11回マレーシア総選挙の結果とマレーシア国政の展望」*NUCB Journal of Economics and Information Science*（名古屋商科大学）49(2): 137-146。
- 亀井 健史／珠玖 隆行「マレーシア軟弱海成粘土地盤上に建設された試験盛土の変形挙動の評価」『総合理工学部紀要（A）』（島根大学）39: 17-27。
- 川島 哲「FTA への動向にみるアジアの経済連携への取り組み：中国、タイ、マレーシアを中心として」『論集』（金沢星稜大学）39(2): 39-45。
- 木田 秀一郎／斎藤 孝宏「ボルネオマレーシアの畜産」『畜産の情報 海外編』194: 59-88。
- 久志本 裕子「サイド・ムハマンド・ナキーブ・アル=アッタスの教育論：現代マレーシアにおける『知識のイスラーム化』の意味」『教育学研究年報』（東京学芸大学）24: 1-14。

- 薫田 文悟「多民族国家での語学教育<マレーシア>：学校訪問 檳華女子小学／アブドゥラムンシ高校／セント・ジョージ女子高校」『海外の教育』31(4): 27-37。
- 合田 美穂「東南アジア華人移民の歴史およびマレーシアとインドネシアにおける華人移民の適応パターン」『甲南女子大学研究紀要 人間科学編』41: 45-55。
- 國分 圭介「マレーシアにおける経済発展と民族の混住化：1947年～2000年」『開発学研究』16(1): 31-39。
- 佐藤 考一「中国とASEAN諸国：弱者の論理としての「中国脅威論」」『国際問題』540: 46-57。
- 佐藤 考一「中国とASEAN諸国：安全保障から見たその関係」『東亜』456: 34-42。
- 佐藤 考一「非伝統的安全保障：海賊問題とイスラム・テロを中心に」黒柳米司（編）『アジア地域秩序とASEANの挑戦：「東アジア共同体」をめざして』明石書店、pp. 131-161。
- サラバナムツチュ、ヨハン「マレーシア：多文化民主社会のミドルクラスという自意識」猪口孝／ミゲル・バサネズ／田中明彦／ティムール・ダダバエフ（編）『アジア・バロメーター 都市部の価値観と生活スタイル：アジア世論調査（2003）の分析と資料』（アジアを社会科学するシリーズ1）明石書店、pp. 109-125。
- 篠崎 香織「ペナン華人商業会議所の設立（1903年）とその背景：前国民国家期における越境する人々と国家との関係」『アジア経済』46(4): 2-20。
- 菅原 由美「インドネシアの国立公文書館紹介：コレクションと分類」『アジア研ワールド・トレンド』11(3): 16-17。
- 菅原 由美「インドネシア写本保存共有プロジェクト」『史資料ハブ地域文化研究』（東京外国語大学）6: 102-110。
- 杉村 美紀「マレーシアの高等教育における華文教育の展開」諏訪哲郎／斉藤利彦（編）『加速化するアジアの教育改革』（学習院大学東洋文化研究叢書）東方書店、pp. 49-76。
- 鈴木 早苗「マハティール政権期における外交の二側面：既存研究を中心に」鳥居高（編）『マハティール政権の22年：文献レビューと基礎資料』アジア経済研究所、pp. 255-275。
- 諏訪 哲郎「マレーシアの初等教育における英語重視政策とその展開」諏訪哲郎／斉藤利彦（編）『加速化するアジアの教育改革』（学習院大学東洋文化研究叢書）東方書店、pp. 1-47。
- Segawa Noriyuki（畝川 憲之），“Reconsideration of National Integration Policies in Malaysia, 1957-Present”『国際学論集』（大阪学院大学）16(2): 79-119。
- 左右田 直規「マハティール政権期の高等教育政策：予備的考察」鳥居高（編）『マハティール政権の22年：文献レビューと基礎資料』アジア経済研究所、pp. 205-253。
- 左右田 直規「植民地教育とマレー民族意識の形成：戦前期の英領マラヤにおける師範学校教育に関する一考察」『東南アジア 歴史と文化』34: 3-39。
- 祖田 亮次「マレーシア・サラワク州をめぐる国際労働移動」石川義孝（編）『アジア太平洋地域の人口移動』明石書店、pp. 299-326。
- 滝沢 昌彦（訳）「マレーシア消費者保護法（1）」『一橋法学』4(3): 87-133。

- 竹野 富之「マレーシアにおけるザカート (Zakat) の社会制度化をめぐる一考察」『南山考人』33: 41-76。
- 竹野 富之「マレー人のウマ (umat) 観：共食儀礼クンドゥーリ (kenduri) が紡ぎだす人間関係に焦点をあてて」『南方文化』32: 89-124。
- 立本 成文「東南アジア島嶼部の宗教事情」『アリーナ』(中部大学) 2: 206-215。
- 店田 廣文「マレーシアの人口都市化と高齢化問題」店田廣文 (編)『アジアの少子高齢化と社会・経済発展』早稲田大学出版部、pp. 52-69。
- 田邊 俊治/杉本 均「マレーシアにおける教員養成システム」日本教育大学協会 (編)『世界の教員養成 I アジア編』学文社、pp. 113-138。
- 田和 正孝「マカッサル海峡南部における漁業の変化：コディンガレン島を中心として」『人文論究』(関西大学) 54(4): 88-109。
- 多和田 裕司「マレーシア」柳橋博之 (編)『現代ムスリム家族法』日本加除出版、pp. 1-86。
- 多和田 裕司「第3章 東南アジア島嶼部 第3節 マレーシア I. マレーシア全般」文化庁 (編)『海外の宗教事情に関する調査報告書』文化庁、pp. 167-185。
- チャン・チン・フォン「マレーシア中小企業の経営革新におけるダイナミズム」『大学院研究年報』(拓殖大学) 32: 203-238。
- 津上 誠「オラン・ウル：バルイ流域民の現在から」綾部恒雄 (監修) / 林行夫 / 合田濤 (編)『東南アジア』(講座世界の先住民族 ファースト・ピープルズの現在 02) 明石書店、pp. 306-322。
- Tsunashima-Miyake Ikuko (綱島 (三宅) 郁子) , “Towards Mutual Understanding or Religious Intolerance? Impacts and Implications of the Recent Iban Bible Issue in Malaysia” *Journal of the Interdisciplinary Study of Monotheistic Religions* (同志社大学) 1: 19-63。
- 恒吉 僚子「教育におけるアメリカ・西洋モデルと文化的ジレンマ：日本とマレーシアの選択」瀧田佳子 (編)『太平洋世界の文化とアメリカ：多文化主義・土着・ジェンダー』(変貌するアメリカ太平洋世界 6) 彩流社、pp. 121-138。
- 坪井 祐司「東南アジア (2004年の歴史学界：回顧と展望)」『史学雑誌』114(5): 856-862。
- 坪内 良博「人口と生活の変化：マレーシア農村を手がかりに」安場保吉 (編)『東南アジア社会経済発展論：30年の進歩と今後の課題』勁草書房、pp. 53-78。
- 坪内 良博「多民族社会形成の人口史 (1) マレー半島スランゴールとペラク」『甲南女子大学研究紀要 人間科学編』41: 91-104。
- 鳥居 高「マハティール政権期をどのように捉えるのか (試論)」鳥居高 (編)『マハティール政権の22年：文献レビューと基礎資料』アジア経済研究所、pp. 1-29。
- 中川 利香「マハティール政権期における金融：論点整理と研究の展望」鳥居高 (編)『マハティール政権の22年：文献レビューと基礎資料』アジア経済研究所、pp. 133-204。
- 中島 美登子/三浦 研/高田 光雄「知的障害者小規模作業所における構造化手法を用いた支援の個別化に関する研究：マレーシア・S 作業所における作業環境の個別化とスケ

- ジュールシステムに着目して」『日本建築学会環境系論文集』598: 35-42。
- 長津 一史「第3章 東南アジア島嶼部 第3節 マレーシア II. マレーシア島嶼部(サバ州)」文化庁(編)『海外の宗教事情に関する調査報告書』文化庁、pp. 187-210。
- 中村 正志「ビジョン2020の骨子と背景: 新経済政策との共通性と差異」鳥居高(編)『マハティール政権の22年: 文献レビューと基礎資料』アジア経済研究所、pp. 31-65。
- 西尾 寛治「「マレー(ムラユ)世界」論の現状と背景」『歴史と地理』584: 1-14。
- 西村 雄志「20世紀初頭の海峡植民地における通貨制度の展開」『歴史と経済』47(4): 33-49。
- 野島 剛「マレーシア: イポーの三つの優れもの」山下清海(編)『華人社会がわかる本: 中国から世界へ広がるネットワークの歴史、社会、文化』明石書店、pp. 169-173。
- 信田 敏宏「オラン・アスリ: 開発とイスラーム化」綾部恒雄(監修)／林行夫／合田濤(編)『東南アジア』(講座世界の先住民族 ファースト・ピーブルズの現在 02) 明石書店、pp. 292-305。
- 信田 敏宏「森を再利用する人びと: オラン・アスリ社会におけるドリアン収穫」池谷和信(編)『熱帯アジアの森の民: 資源利用の環境人類学』人文書院、pp. 223-250。
- 花崎 泰雄「誇りと偏見: マハティール1981—2003」『埼玉大学紀要』40(2): 79-94。
- 原 不二夫「マレーシア国立公文書館」『アジ研ワールド・トレンド』11(3): 18-19。
- 深見 純生「ターンブラリングの長い13世紀: ジャーヴァカからシャムへ」『南方文化』32: 125-147。
- 舟田 京子「マレーシア社会におけるマレー語の地位と役割: 独立前後を中心に」『神田外語大学紀要』17: 191-209。
- 布野 修司／山崎 大智／宇高 雄志／ナウィット・オンサワンチャイ／山田 協太「マラッカ(マレーシア)旧市街の空間特性と住居形式に関する考察」『日本建築学会計画系論文集』590: 41-47。
- 松田 修「マレーシアにおける財務報告基準」『名古屋産業大学論集』6: 101-108。
- 見市 建「『イスラーム票』はどう動いたか: 南カリマンタン州における福祉正義党の躍進から」松井和久／川村晃一(編)『インドネシア総選挙と新政権の始動: メガワティからユドヨノへ』明石書店、pp. 176-201。
- Miyagi Ichiro (宮城 一郎); and Toma Takako (當間 孝子), “Topomyia Roslihashimi, A New Species of the Subgenus *Suaymyia* (*Diptera: Culicidae*) from Gombak, Peninsular Malaysia” 『衛生動物』56(4): 275-282。
- 宮崎 恒二「時空間のあいだの翻訳: ジャワ系マレー人の呪力」真島一郎(編)『だれが世界を翻訳するのか: アジア・アフリカの未来から』人文書院、pp. 225-239。
- 森 晶寿「クリーナープロダクション促進への国際援助の有効性と課題: 中国・タイ・マレーシアへの国際援助を素材に」『国際開発研究』14(2): 127-140。
- 八百 啓介「江戸時代における東南アジア漂流記: 『南海紀聞』とボルネオ情報」『日本歴史』687: 54-69。
- 山田 満「マレーシアにおける平和構築の試み: マルティ・エスニック国家の紛争予防」

- 日本平和学会（編）『人道支援と平和構築』早稲田大学出版部、pp. 41-57。
- 山田 悠未「マレーシア新村にこめられた計画理念とその実施：華人新村研究（その2）」『日本建築学会環境系論文集』597: 211-216。
- 山本 博之「地域にとって地域研究者とは何か：マレーシア・サバ州のバジャウ人研究に見る当事者性と外来者性」『地域研究』（国立民族学博物館）7(1): 91-106。
- Chappell, Nick A. 「湿潤地帯の森における水の流出：神話 vs 観測結果」『水利科学』48(6): 32-46。
- 陳 立行（Chen Li Xing）「起業行動についての比較研究：日本，中国，マレーシアを例として」『日本福祉大学経済論集』30: 131-147。
- Chew Yin Teng, “The Changing HRM Practices of Japanese Firms and the Impacts on Compensation Practices of Japanese Affiliates in Malaysia”『国際開発研究フォーラム』（名古屋大学）28: 55-80。
- Chia, Stephen, “Prehistoric Earthenware of Malaysia”『上智アジア学』23: 201-235。
- Dimbab Ngidang, “Deconstruction and Reconstruction of Native Customary Land Tenure in Sarawak”『東南アジア研究』43(1): 47-75。
- Hassan-Zaki Pakhriazad; and Shinohara Takeo（篠原 武夫），“A Study of Legitimate Rights of the Sultan and Malay Customary Land Tenure System in the State of Pahang, Peninsular Malaysia”『林業経済研究』51(2): 13-20。
- Intan Osman; and Mohd Yusoff Hamzah, “Business and Personal/Family Values and Technology Development or Adoption among SMEs in Malaysia: An Exploratory Study”『日本福祉大学経済論集』30: 233-254。
- Mohd Khairuddin Hashim; and Intan Osman, “An Empirical Assessment of Business Practices in Malaysian SMEs”『日本福祉大学経済論集』30: 223-232。
- Ng, Ailing／高木 真人／阪田 弘一／西村 征一郎「マレーシア・ペナン島のショッピングハウスに関する研究：ジョージタウン市における伝統型ショッピングハウスの空間構成について」『日本建築学会環境系論文集』597: 1-7。
- Nordin Hussin, “Networks of Malay Merchants and the Rise of Penang as a Regional Trading Centre”『東南アジア研究』43(3): 215-237。
- Patrick Guda Benjamin; Jurin Wolmon Gunsalam; Son Radu; Suhaimi Napis; Fatimah Abu Bakar; Meting Beon; Adom Benjamin; Clement William Dumba; Selvanesan Sengol; Faizul Mansur; Rody Jeffrey; Nakaguchi Yoshitsugu（中口 義次）; and Nishibuchi Mitsuaki（西渕 光昭）, “Factors Associated with Emergence and Spread of Cholera Epidemics and Its Control in Sarawak, Malaysia between 1994 and 2003”『東南アジア研究』43(2): 109-140。
- 張 開玫（Zhang Kaimei）「マレーシアにおける華人企業グループの発展状況」『東アジア研究』（大阪経済法科大学）42: 17-29。